

摺上川ダムの洪水調節効果

平成19年7月14日～16日の場合

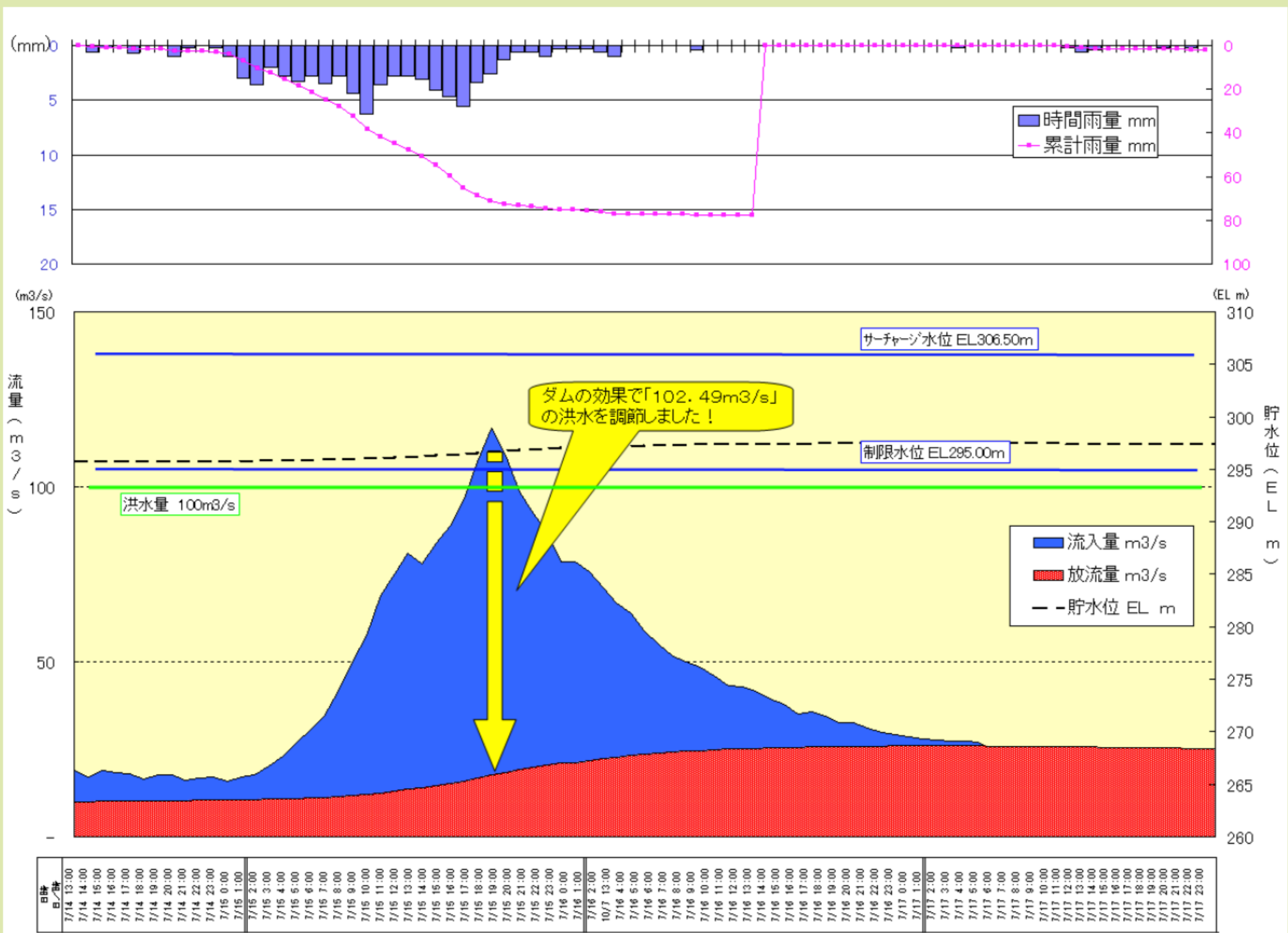
洪水の概要

台風4号に伴う降雨により、摺上川ダム流域では平成19年7月14日昼より雨が降り出し、7月16日9:00までの累加雨量は77.2mmに達しました。この影響により摺上川ダムへの流入量は7月15日18:40にピークに達し、洪水量(100m³/s)を超える119.78m³/sの流入量を記録しました。

摺上川ダムの効果

摺上川ダムでは、自然調節方式による洪水調節を行った結果、最大流入時の放流量は17.29m³/sに抑えられ、「102.49m³/s」の洪水をダムで調節(貯留)しました。この結果、摺上川ダム下流の瀬ノ上地点での河川水位は、ダムがなかった場合に比べ約30cm低く抑えることが出来ました。

洪水調節のグラフ



瀬ノ上地点でのダム効果

摺上川ダムの洪水調節効果で、瀬ノ上地点では約30cmの水位低下効果がありました。

